



試すっ子

学校教育目標「試す人になろう」 No.21

明るい気持ちで楽しい毎日を

校長 中野 主税

11月も下旬に向かうにつれて、急に暖房が恋しい日が続いています。体調はいかがでしょう。11月に入り、体調を崩して欠席する子供たちが増えてきました。「熱は下がったけれど咳が止まらない」、「微熱だけれど、だるくて頭が痛い」といった症状が多いようです。寒くなり体調管理が大変な時期こそ、明るい気持ちで楽しい毎日を送りたいものです。「病は気から」ともいうので、是非、前向きな明るい気持ちでこれからの寒い時期を乗り切っていきたいと思います。

ある雑誌に『明るく機嫌よくいるために習慣化したいこと』が書かれていましたので御紹介したいと思います。

『明るく機嫌よくいるために習慣化したいこと』

- 1 身近にいる人にほど「ありがとう」を言う
 - ・ 「ありがとう」で、今ここにある幸せを感じる
- 2 時々空を見上げる
 - ・ 「見上げる」という行為は、いやなことを考えさせない行為
- 3 朝起きた時に、ベッドを整える
 - ・ どんな達成も、小さな達成が集まって成り立つ
- 4 とりあえず、やってみる
 - ・ 試して、確かめることで、「自分」ができていく
- 5 自分をほめる
 - ・ どんどん自分が好きになっていく

気分がいいから前向きな行動が生まれるのではなく、前向きな行動から明るい気持ちが生まれます。

本校には、『試す人になろう』という校訓があります。この校訓は、何度も何度もチャレンジし、失敗してもあきらめずに挑戦し続けるという本田宗一郎さんの生き方、メッセージが込められています。子供たちが自分を好きになり、明るい気持ちで楽しい毎日を切り拓いていく上でも大切な言葉です。御家庭でも「試す人になろう」と、お声掛けください。

学習発表会へ多数お越しいただき

ありがとうございました